

東北新報

本報は毎月十日発行
毎号三錢五分
定額三圓
代金先払い
石巻市本町一丁目
電話二二二番
支店 仙台 電話二二二番
支店 盛岡 電話二二二番
支店 秋田 電話二二二番
支店 山形 電話二二二番
支店 福島 電話二二二番
支店 茨城 電話二二二番
支店 栃木 電話二二二番
支店 群馬 電話二二二番
支店 埼玉 電話二二二番
支店 千葉 電話二二二番
支店 東京 電話二二二番
支店 神奈川 電話二二二番
支店 新潟 電話二二二番
支店 富山 電話二二二番
支店 石川 電話二二二番
支店 福井 電話二二二番
支店 岐阜 電話二二二番
支店 愛知 電話二二二番
支店 三重 電話二二二番
支店 滋賀 電話二二二番
支店 京都 電話二二二番
支店 大阪 電話二二二番
支店 和歌山 電話二二二番
支店 奈良 電話二二二番
支店 徳島 電話二二二番
支店 香川 電話二二二番
支店 高松 電話二二二番
支店 愛媛 電話二二二番
支店 高知 電話二二二番
支店 福岡 電話二二二番
支店 佐賀 電話二二二番
支店 長門 電話二二二番
支店 大分 電話二二二番
支店 熊本 電話二二二番
支店 鹿児島 電話二二二番
支店 沖縄 電話二二二番

社説

政黨が各層階級の機能にまで食ひ入り、黨勢擴張をしてゐる結果として、自治体そのものの運用にまで政黨の魔手が延びるに到つたことは寒心に堪えないことである。

年々ボウ張する

平町の教育費

教育費の特別補助を

文部省にお願いする始末

随つて不心得千萬な吏員などはその何れかの町會議員に對し好感を示めようと努めることも要す。に政黨化される自治体の存在する限り、萬止むを得ぬことでもあらうし、俗更根生としても當然のことであらう。

貧弱市町村として文部省から義務教育費の特別補助を受ける特別町村については石城支會でも各町村の報告を取りまとめ、鋭意調査をしてゐるが今年よりカン害等のために前年より更に増加の傾向で如何に地方自治体が財政的窮乏をしのぎ、教育費の膨脹に泣かされる者へ洩らしてゐる。意すべきは市制實施を目前に控えてゐる平町がともな

ばかりでなく、原案計画上、企設計畫上に由々々々支障を招来するといふ有様であるが、當局者が此の吏員が民政黨系の者である爲めに断然たる處置に出づることが出来な

して解職すべきである。網紀肅聲高らかに提唱される秋、政黨のメバイを處断出来ないやうな腰抜け課長では、三萬町民に給水する大責任ある職責を全ふすることが出来な

金縁眼鏡をかけ 笑ひを浮べ乍ら

偽造開首領小泉取調を受く
大膽さに舌を巻く

國庫債券變造團の首領として嚴重なる監視のもとにあつた相馬郡松ヶ江村生れ一夜を明かし二十四日は日元福島商業若松支店長小泉隆にも拘らざる早朝から係り

刑事に 逮捕され更に泉は金縁メガネをかけ、兵太郎（五二）も逮捕されて若林司法主任の前に立ち取

電話番號變更披露

昨日迄電話七五七を本日より

電話八五二番

變更致しました

御願ひ申上ます

本社印刷部 丸山印刷所

小學兒童専用の爲め

新味のある地方歌

平町教育會が計畫

石城郡下の小學校用唱歌教うになり教育歌曲が衰退し増加して町民の負擔が益材が歌曲共に千偏一律で新なつたので學校當局は勿論々野くなるので之れを幾味に乏しいため兒童等が昨教育界では

の弊害甚大であるといふので郡内各學校では殊の外神經をがらし學校内のジャズ禁止等の取締り厳重にするこになつたが教育會は教育者間の意見に基づき一定した地方に適合する小學兒童専用とも稱すべき唱歌を作つて出來得る限り流行歌の驅りくをなさんと

計畫してゐるが歌曲は何れも文部省檢定並に認められた歌詞歌曲中から時代に適した新味のある地方に適應するものを選択する

△納會紅白試合
石城球協會の納會紅白試合は二十四日午前十時から平商校々庭に於て開催され

△養正會演說會
立憲養正會主催の政談演說會は二十七日午後六時から聚樂館に於て開催

△明日の天気
（小名濱測候所）
明日二十五日は西の風午前中晴れて午後から曇り勝

△急募
十三四歳以上の印刷見習工三名至急募集す。

本社印刷部
電話八五二番

口唄文苑

丹野壽山

故郷に心躍らせ訪れば
隙子の破れいと身にしむ
久方に心躍らせ訪れば
我が足もとに犬のより来る
寄り来る小犬我が手に抱きしめ
よく忘れじと頭さすれり
餅焼きて我にす、めし母上の
頭の白髪いと増しにけり

山口秘明
戸を明けて今朝の寒さを驚きぬ
さえくんと澄渡りけり秋の月
森の小道をひとり行く時

夕燒空の田浦に寝てゐた
坂を上る荷車と共に
行くものを
見ながら

山口秘明
寒い／＼北風が
ひゆう／＼吹いて居りま
した
空には紅い夕陽が
静かに彼方に沈むとき
僕はひとりどとほ／＼と
淋しい野道を行きました
僕の行く手に亡き友の
静かに眠る石塔が
寒い／＼原中に
ポツンと立つて居りまし
た
野菊を墓前にそなへた時
空には淡い星影が
僕の歸りを待つ様に
まばらに光つて居りまし
た

丘の道を遠く送らう
ありとあらゆる地上のもの
うごめきを見る時
土のよい聲が
草葉がぐれに明らかだ
夕陽の光に合せて
小鳥は新しい樹にこえ
高し
遠い所に奇蹟の大聲を
發する

男の耕唄が
無造作に野にまかれて居
る
行人のさみしい習慣は
早や
夕餉をながめて居るけれ
ども私はひとり

塔中の怪 (三)

無名氏

窓と鴨居とは象牙真珠等をもつて縁ざられ、更に四物詰りに入らんとするが如方を見廻すと金燦の垂れ幕、はげしく頭を左右に振つた。塔に登るには銀の階段のきら／＼と輝き室と室との間には大理石の廻廊の長く、外廓に沿ふて此方の室より彼方の室に行かんとするに、断崖絶壁の上に波に臨み、不思議な構造の石の浮橋もある、この浮橋は王が殊に心をを用ひて作つたもの、由で下方に狂爛と叫ぶ跳る物凄景色を眺めながら、此の浮橋を渡つて其の一端に天を指して立つて居る二個の雪の如くしろい女神大理石の債の間を過ぎてそれより、狭く険しき石の階段を一個一個三つ四個五つ六つおよそ七つ八つは昇り昇つては昇やがて北斗七星を現はせる、奇妙な輪廓のある入口をくゞつてはじめて黒面どうで一番高い塔の絶頂に達する事が出来るのである。此塔の絶頂こそ魔術の海賊が先刻のやうに黒旗を振り香を焚いて空中の魔影を祭つた所であり、僕が心がかせいで塔の頂まで登らなかつたがそこには定めてはるかに絶海の波に面し苦むじたるのトウ全形を足下ろして如何に物凄景色だらうと思ふか言ひかけて探偵はこれより、

イコキ食堂

電話四六〇番

阿康薬店

電話四四番

◎緊縮と輸入防濁

純國産品で正確堅牢なセイコー腕時計を皆様に切にお薦め致します

◎宣傳の爲め抽籤特賣

- 一等 復興債券(額面百圓) 六十本
- 二等 蓄音器(市價七十五圓) 二百本
- 三等 置時計(市價五十圓) 三百本
- 四等 目覺時計(市價三十圓) 五百本
- 五等 机上時計(市價二十圓) 五百本

期日十一月三十日まで空籤なし

平町三丁目

特約店 大谷時計病院

電話十九番

梅毒と體毒を

切らずに注射せず治す

獨逸のベルツ博士の發見

ベルツ丸

悩み苦しむ人々よ...速刻服用して其偉効を味はれよ

薬價 輕症用三圓、重症用五圓、頑固用拾圓 根柢徳用廿圓、試用二圓、一圓

平町五丁目角

地方一手特約店 山野邊藥局

外科一般 (入院隨意)

内臓外科専門

花柳病科

平町六丁目(橋際)

木村科外醫院

電話三〇九番

電話新設廣告

十一月廿一日 開通

新設電話開通仕候間精々御利用願上候紙上を以て御披露申上候也

平町新田町

八五七番 紀乃國屋

水口豊次郎

八六〇

玩具類 學用品 釣小賣

森下商店

平町一丁目

平町白銀町

八五九番 藤浪電機工業所

藤浪時康

九〇五番 マルトモ柴田書店

柴田徳治

八六五番 御料理 尼 忠

山口ヨシノ

九〇六番 銘酒谷 盛

大谷酒店

平町三丁目

八六七番 天地堂

高倉精一

九〇八番 田卷商店

田卷隆一

内外果實商

八五八 好川屋商店

平驛前角

九〇九番 佐藤金鑄工場

佐藤源次郎

平町大工町

八六九番 多田井質兩替店

多田井笑次郎

九一二番 産婆草野ナツ

平町白銀町